

おめでとうございます

受賞者をたたえ祝賀会を開催

叙勲や大臣表彰などの栄に浴された、24組の個人や団体を招いて11月19日、食彩の宿いおか荘で「受賞者を称える会」が開催されました。それぞれの分野で長年活躍された皆さんを紹介します。※敬称略



【叙勲】

旭日小綬章

宮内三朗(三川)

旭日双光章

高木良章(口) 宮澤兄一(萬歳)

瑞宝双光章

青木幸市(口) 向後節子(二)

正六位瑞宝双光章

(故)新行内昭二(口)

旭日単光章

加瀬忠男(ハ) 山本市次郎(下永井)

(故)伊藤一夫(中谷里) (故)島

田幸治(後草)

【大臣表彰】

文部科学大臣表彰

土屋敦(東庄町)

内閣府特命担当大臣表彰

小関邦夫(口)

内閣府特命担当大臣表彰

林なる美(行内)

【千葉県知事表彰など】

千葉県知事表彰

伊藤忠良(鎌数) 齊藤陽久(ハ)

鈴木英子(新町) 安藤良雄(口)

青木裕紀子(二) 衣鳩富美男(萬歳)

榎石川商会(口) 中国料理

寿苑(後草)

千葉県知事特別功労章

菅谷衛一(溝原)

千葉県知事功労章

石毛庄市(八木) 高木文英(長部)

平成22年 旭市10大ニュース

1 ◇スーパープレーに大興奮 夢の大会が旭市で初開催
-ゆめ半島千葉国体卓球競技会(9~10月)-

2 ◇初開催の体育祭に5,000人が集結 心地良い汗を流す
-第1回旭市民体育祭(10月)-

3 ◇森田知事2度の来旭 市のPRに一役
-いおか港・水産まつり2010(6月) ふるさとまつり・ひかた2010(11月)-

4 ◇技術力の高さを証明 東総工業高校が2年連続で全国へ
-第18回高校生ロボット相撲全国大会(11月)-

5 ◇子育て家庭を応援
-子ども手当・乳幼児紙おむつ購入券支給(4月)-

6 ◇ハイブリットカーで挑戦 旭市少年少女発明クラブが全国出場
-全国少年少女チャレンジ創造コンテスト(11月)-

7 ◇豪華絢爛に 3寺社で式年祭
-新川立ノ前観世音(2月) 雷神社(4月) 玉崎神社(10月)-

8 ◇猛暑の夏 砂のオブジェと心をつなぐ感動の演出
-あさひ砂の彫刻美術展(7月)-

9 ◇市民サービスの充実に向けて
-毎月第2・4日曜日市民課休日窓口開設(1月)-

10 ◇雇用創出 中心市街地活性化 旭自慢の産品店オープン
-ふるさと産品ショップ駅前市場『おあがん旭』(6月)-



夢の大会に、たくさんの人が感動、興奮しました(ゆめ半島千葉国体卓球競技会)



イエイ、1等賞!(第1回旭市民体育祭)



そのおいしさに森田知事も仰天!(いおか港・水産まつり2010)

高齢者叙勲

昭和14年、銚子郵便局に勤務して以来40年余りにわたり、郵政職務に精励され「お客様の声を大切に心のこもったサービスを」をモットーに、地域に根ざした郵便局づくりを推進してられました。昭和51年からは郵便局長として、豊富な知識と優れた指導力で後進の指導に尽力され、郵政事業の発展に貢献されました。



瑞宝双光章

常世田政雄さん

88歳（東足洗）

スポーツを通じ異世代で交流

第6回体力づくりフェスティバル

スポーツを通じて、体力づくりと交流を図ろうと11月28日、スポーツの森公園で健康体力づくりフェスティバルが行われ、小学生とお年寄りを合わせた698人が、3種目に分かれて汗を流しました。小学生同士で行われたドッジボールやティーボールは、観客の応援にも熱が入るような熱戦を展開。またお年寄りと小学生と一緒にプレーをしたグラウンドゴルフでは「上手だね」「おいしい！」などの歓声があちらこちらから聞こえ、世代を超えて共に楽しんでいました。



▲「ナイスショット！」徐々にコツをつかむ子どもたち

天使の歌声が観客を魅了

モスクワ＆あさひ少年少女交流コンサート

モスクワ少年合唱団・あさひ少年少女合唱団ジョイントコンサートが11月11日、東総文化会館小ホールで行われました。会場は満員で立ち見の人もあるほどの大盛況。「天使の歌声」と称されるモスクワ少年合唱団の歌声が会場に響くと、訪れた人たちはその美声に聞き入っていました。最後はアンコールに応じて2つの合唱団と一緒に童謡「赤とんぼ」を歌うと、会場から大きな拍手が送られました。

旭 農業高校創立100周年を祝う



▲在校生による発表で、祝賀ムードがさらに高まる会場

県内唯一の農業高校である県立旭農業高等学校が、創立100周年を迎え11月27日、東総文化会館で記念の式典を行いました。同校のOBや来賓、在校生などおよそ850人が集まった会場では、森田知事をはじめ多くの来賓から、次々にお祝いや激励の言葉が述べられていました。式典の後会場では、在校生による農学校100年の歩みや記念事業などの紹介、吹奏楽部と合唱団の演奏などが行われ、会場を盛り上げました。

今年も郷土自慢の特産品がずらり

ふるさとまつりひかた・海上産業まつり

地元産品のPRと市民の交流を図ろうと行われる、恒例の産業まつりが11月7日に干潟中学校、23日に海上コミュニティ運動公園で行われました。今年は、旭会場があいにくの天気により中止となってしまいましたが、2会場には合計44,000人が訪れ、新鮮な農畜産物など目当ての品々を買求めたり、さまざまな加工品などに舌鼓を打ったりしていました。



▲おいしい豚肉におもわず笑みがこぼれる（干潟会場）



▲迫力の「野菜の宝船」に来場者もびっくり（海上会場）



▲会場を包むハーモニーが観客を魅了

中央小PTAが県大会で準優勝

千葉県PTAバレーボール大会



▲準優勝を喜ぶ中央小PTAの皆さん

県総合スポーツセンター体育館で11月4日、PTAバレーボールの県大会が行われ、県内各地区の代表16校が、熱戦を繰り広げました。東総地区の代表として参加した中央小PTAチームは、1回戦から順調に勝ち進み、準決勝で昨年の優勝チーム君津市大和田小を破って決勝へ進出。決勝では、市川市新浜小にフルセットの末、惜しくも敗れてしまいましたが、試合を終えた選手たちは笑顔で互いの健闘をたたえ合っていました。

勝ち取った栄冠 粋なプレゼントに

第32回千葉県スポーツ少年団軟式野球交流大会 第8回中学生の部

中学生野球大会の決勝が10月23日、横芝光町のふれあい坂田池公園野球場で行われ、部活動を終えた旭一中、海上中、干潟中の3年生で混成された「旭市選抜」が優勝しました。市内からはほかに、旭二中与飯岡中の3年生チームも出場し、健闘しました。優勝した旭市選抜は、8月に行われる関東大会の出場権を獲得。大会には、卒業する3年生に代わって後輩たちが出場することになり、先輩からの粋なプレゼントになりました。



▲優勝した旭市選抜 最優秀選手：石毛聡貴さん／海上中（前列右から2番目）優秀選手：伊東結人さん／干潟中（後列1番左）

わっしょいの掛け声でつながる輪

海と大地の音楽祭

「わっしょいタンゴ」の世界デビューを記念して、飯岡まちおこし実行委員会とわっしょいタンゴ普及会が、11月23日に東総文化会館で音楽祭を行いました。「わっしょいタンゴ」は、車いすを利用する人などを考慮した簡単に踊れるダンス。この日とこ同士で訪れ、飛び入りで踊った子どもたちは「楽しかった」「大きい舞台だったけど、緊張しなかったよ」と話していました。

やさすらぎのあるまちづくりに向け

第6回旭市社会福祉大会

健やかでやさぎのあるまちづくりを推進するため、社会福祉大会が11月20日、東総文化会館で開かれました。320人が参加した大会では、社会福祉功労者や小・中学生社会福祉作文入賞者の表彰、大会宣言などが行われました。落語家の三代目林家染二さんの「手を伸ばせばぬくもりが」と題した講演も行われ、その実体験などを織り交ぜたユーモア溢れる話に、会場は笑顔がいっぱいでした。



▲「笑いは副作用のない薬」と林家染二さん

楽しく学んで自己啓発

第6回生涯学習フェスティバル



▲青少年意見発表者

11月13日、14日に東総文化会館で生涯学習フェスティバルが行われました。13日には、青少年意見発表大会が行われ、子どもたちが日頃心に残った出来事などを発表しました。14日には、小布施町の町おこしに大きく貢献し、その行動力で「台風娘」の異名を持つセーラ・マリ・カミングスさんによる講演会が行われました。セーラさんが「行政と民間が協力できれば、お互いの力を発揮でき、より良い町おこしにつながる」と話すと、会場の人たちは大きくうなずいていました。



▲熱弁で観客を引き込むセーラさん



▲輪になって、わっしょい！